

For students , parents
For teachers

「継続の差は大きい」

校長 前田 達彦

本校における３年間を一生の宝とし、将来大きく飛躍することを願い、私からの皆さんへの期待の一端を述べたいと思います。

第１の期待は、「自分で考えて実際に行う」という意味の「自考実践」ができることです。単に、人からの指示を待って、言われたとおりに動くのではなく、自ら進んで学ぶ姿勢と、自ら主体的に判断し、行動できる能力と態度を身につけることが重要です。学校は、「自ら進んで学ぶ場」なのです。教科の学習はもちろん、部活動や生徒会活動などを積極的に取り組み、「自ら考え、自ら実践」することで、大きく成長してほしいと思います。

第２の期待は、「誠実」であってほしいということです。学校の規則や約束事を守り、人に優しく、思いやりのある言動ができる、素直で誠実な高校生であり続けることを願っています。雑で適当な振る舞いの中からは、決して誠実さは見えてきません。物事一つ一つが丁寧で誠実な取組になることを期待します。

第３の期待は、「夢や目標を持ってほしい」ということです。皆さんは３年後、就職するにせよ、進学するにせよ 真の実力がなければ 自分の希望を達成することはできません。「何を学んだか」ではなく、「何ができるようになったか」、が肝要です。そのために、夢や目標をしっかりと定め、本気になって、その達成に向けての努力を惜しまないでください。

「才能の差は小さいが、努力の差は大きい。継続の差は、もっと大きい。」

というこの言葉には、とても重みを感じます。

夢や目標に向かって、努力し続ける人は、高校生として輝きます。そしてその努力を継続することこそが、自身の「成功」に繋がっていくと信じています。

この３つの期待を心に留め、今後、今の自分より一歩前へ、そして一つ上を目指してください。

皆さんが入学する２０２６年度は、世界各地で生じる戦争や紛争、異常気象や自然災害による被災など、多くの不安があるのは事実です。しかし、ここ、中五島高校は、万全を期して新入生の皆さんをあたたかく迎え、皆さんと一丸となって前向きに頑張っていける環境を整えています。どうか、安心して高校生活の第一歩を踏み出してください。

「中五島高校」という希望の丘に立ち闘志を燃やしている皆さんの、新しい決意と、熱き志を心に念じ、式辞といたします。

(令和８年度入学式 校長式辞より抜粋)